

8/8
福井

反貧困連「暑さ対策を」

生活保護世帯、県へ要望



記録的な猛暑により全国で熱中症の症状による死亡や救急搬送が相次ぐ中、県労連や県民医連などをつくる反貧困連絡会は7日、エアコンが使えない生活保護世帯の対策を講じるよう県に申し入れた。写真。

厚生労働省は、今年4月以降に生活保護の受給を始めた世帯のうち自宅にエアコンがなく、高齢者や障害者、子ども、体調の優れない人がいる場合、エアコンの購入費用と設置費用の一部支給を決め、自治体に通知した。

県会議事堂で県地域福祉課の坂下直樹課長らと面会した同連絡会は「昨年度までに生活保護の利用を始めた人は対象とならず、支給額も足りない。国の制度は実態に見合っていない」と指摘。「命に関わる問題。県内の状況を調査し声を吸い上げ、国に要望してほしい」と訴えた。これに対し坂下課長は「国の制度をみながら必要に応じて対応する」とし、県独自の支給などは行わない考えを示した。(中野克規)